

## 日本医用画像工学会 2016 年度総会 議事録

会 期：2016 年 7 月 22 日（金） 13:30～14:30

会 場：千葉大学 西千葉キャンパス けやき会館 1 階大ホール

出席者：出席 85 名 委任状 47 名

議事：1. 縄野会長より開会のご挨拶があった

2. 出席 85 名、委任状 47 名の合計 132 名で総会が成立することが確認された

3. 恒例により異議なく縄野会長に議長が一任された。

4. 審議事項

(1) 2015 年度事業報告および 2016 年度事業計画

1) 大会関係について原口常任幹事より報告され、承認された。

2) 学術・渉外について湯浅常任幹事より報告され、承認された。

3) 国際担当について清水常任幹事より報告され、承認された。

4) 編集委員会について工藤編集委員長より報告され、承認された。

5) 編集委員会新体制について湯浅常任幹事より報告され、承認された。

6) 広報委員会について山谷広報委員長より報告され、承認された。

7) 教育委員会について原常任幹事より報告され、承認された。

(2) 2015 年度決算報告

1) 2015 年度決算報告について小尾常任幹事より報告された。

2) 2015 年度決算報告会計監査報告について石垣監事より報告され、承認された。

3) 2016 年度予算案について小尾常任幹事より報告され、承認された。

(3) 役員人事について原口常任幹事より報告され、承認された。

(4) JAMIT 定款附則の変更について原口常任幹事より報告され、承認された。

(5) 会費、会員管理に関する規程の改定について原口常任幹事より報告され、承認された。

(6) 田中栄一記念賞（MIT 誌論文賞）規約の制定について原口常任幹事より報告され、承認された。

(7) 利益相反の取扱いに関する規程の制定について原口常任幹事より報告され承認された。

5. 報告事項

(1) 第34回大会『大会奨励賞』の受賞者の紹介がされた。

(2) 2015年田中栄一記念賞（MIT誌論文賞）の受賞者が紹介され、授賞式を行った。

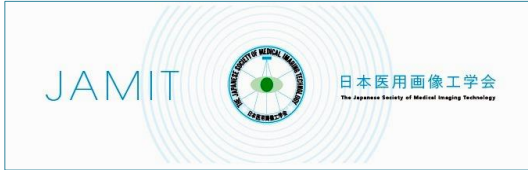
(3) 第36回大会について藤田大会長よりご挨拶があった。

6. 縄野会長より閉会のご挨拶があった。

7. 尾川次期会長よりご挨拶があった。

以上

## 第35回日本医用画像工学会総会 (JAMIT2016)

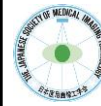


進行次第

1. 開会の辞
  2. 審議事項
    - (1) 2015年度事業報告および2016年度事業計画
    - (2) 2015年度決算報告および会計監査報告
    - (3) 2016年度予算案
    - (4) 役員人事、他
  3. 第34回大会「大会奨励賞」授賞者報告
  4. 2015年度MIT誌「論文賞」授賞者報告
  5. 第36回大会長の挨拶
  6. 閉会の辞
- ※ 総会終了後に「オープンディクショナリ研究会報告」を行ないます。

次回第36回大会(JAMIT2017) 7月27~29日 藤田広志大会長  
於 岐阜県 じゅうろくプラザ

1



## 事業報告および事業計画：大会関係

### ・2015年度報告

第34回大会を、真田 茂 大会長（金沢大学）のもとに、金沢歌劇座にて開催した。（8月1日～3日 / 参加者数：242名・演題数：99）

### ・2016年度報告

第35回大会を、羽石 秀昭 大会長（千葉大学）のもとに、千葉大学にて開催する。（7月21日～23日）

### ・2017年度予定

第36回大会を、藤田 広志 大会長（岐阜大学）のもとに、じゅうろくプラザにて開催する。（7月27日～29日）

2



## 事業報告および事業計画：学術・渉外 連合フォーラム活動等

### 2015年度活動報告

1. JAMIT Frontier 2016（メディカルイメージング連合フォーラム）を開催  
（電子情報通信学会MI研，医用画像情報学会，日本写真学会，日本生体医工学会共同開催）
  - ・ 期日： 2016年1月19日（火），20日（水）
  - ・ 場所： 那覇市ぶんかテンプス館
  - ・ 演題数： 74件（JAMIT特別講演 2件）

### 2016年度活動計画

1. JAMIT Frontier 2017 を開催予定
  - ・ 期日： 2017年1月18日（水）
  - ・ 場所： 那覇市ぶんかテンプス館
2. International Forum on Medical Imaging in Asia (IFMIA) 2017を開催予定
  - ・ 期日： 2017年1月19日（木），20日（金）
  - ・ 場所： 那覇市ぶんかテンプス館

3



## 2015年度報告・2016年度計画 国際担当

### IJCARS JAMIT2015&2016大会特集



Editor-in-chief Lemke 教授との会議

2015年4月 横浜（基本合意）

2015年10月 独・ミュンヘン

（論文募集方式、スケジュールの協議）

2016年6月 独・ハイデルベルグ

（査読者選定方式、査読方式等の協議）

2016年12～2017年2月 必要に応じて、  
独・キザベルグ（IJCARS事務局）にて会議

2014 IF=1.707

2015 IF=1.827

4



## 2015年度報告・2016年度計画 国際担当

### IJCARS JAMIT2015&2016大会特集 スケジュール

- 2015年9月中旬
    - JAMIT2015からIJCARS特集に推薦 (※奨励賞+aから選択)
  - 2016年5月18日
    - JAMIT2016 演題登録者の中で、IJCARS希望者はCARS形式のExtended AbstractをJAMITに提出
  - 2016年7月4日
    - 投稿予定論文の再確認締め切り
  - 2016年8月15日
    - IJCARS投稿締切 (※査読プロセスは通常と同じ。)
    - 2016/9/30 第1回査読締切
    - 2016/12/15 第1回著者修正締切
    - 2017/1/10 第2回査読締切
    - 2017/2/10 第2回著者修正締切
  - 2017年3~4月
    - Online First掲載
- ※予定は変更の可能性があります  
※JAMIT HP等で最新情報をご確認ください

5



## 編集委員会2015年度活動報告

1/3



### (1) 雑誌の発行

Vol.33, No.4『特集：マルチモダリティ医用画像の統合解析+一般』  
 Vol.33, No.5『JAMIT2015大会査読付き論文+一般』  
 Vol.34, No.1『特集：認知症における画像モダリティ最前線+一般』  
 Vol.34, No.2『特集：がんの先制医療のための画像診断技術+一般』  
 Vol.34, No.3『特集：多元計算解剖学+一般』

### (2) 原著論文投稿・掲載状況 (Vol.33, No.4~Vol.34, No.3)

投稿数 (2014年21件 -> 2015年19件)

掲載数 (2014年12件 -> 2015年12件)

### (3) バックナンバーのJ-STAGEへの統合

JAMITホームページにて公開していたMIT誌を電子ジャーナル化する以前 (Vol.28, No.2以前, 1983-2010) の論文をJ-STAGEに統合

### (4) その他

『田中栄一記念賞 (MIT誌論文賞)』新設, サイトライセンス会員の new 設 (案), 新企画の『サーベイ論文』と『書評』を開始, 他

6



## 編集委員会2016年度活動予定

2/3

新体制：湯浅哲也委員長 + 編集委員半数交代

### (1) 雑誌の発行

Vol.34, No.4『特集：医用イメージングにおける圧縮センシングとその周辺+一般』  
 Vol.34, No.5『JAMIT2016大会査読付き論文+一般』  
 Vol.35, No.1『特集：非画像処理研究者のための画像処理入門+一般』  
 Vol.35, No.2『特集：産学連携・医工連携関連の課題と展望+一般』  
 Vol.35, No.3『特集：医用画像展覧会+一般』

### (2) 雑誌改善の検討

原著論文数を増やす方策, 論文査読の仕組みの改善 (厳しすぎ分野の衰退につながるのでは?), 雑誌の評価を高める方策 (PubMedへのアブストラクト掲載など), 非会員への論文公開の検討 (無料, 有料)

### 論文投稿のお誘い

皆様方の積極的な研究成果の投稿をお願いします。

7



## 新編集委員会の構成

3/3

(委員長) 湯浅哲也 (山形大)

(副委員長)

企画・対外担当 杉本直三 (京都大),

投稿担当 田島英朗 (放医研),

審査担当 滝沢穂高 (筑波大),

特集担当 小田昌宏

(委員)

鈴木秀宣 (徳島大), 健山智子 (広工大), 臼井圭介 (順天堂大),

畑中祐司 (滋賀県立大), 花岡昇平 (東大), 銭谷勉 (弘前大),

菅幹生 (千葉大), 小橋昌司 (兵庫県立大), 黒田嘉宏 (阪大),

池田充 (名大), 横田太 (奈良先端大), 大竹義人 (奈良先端大),

大石悟 (東芝メディカル)

8



## 活動報告および活動計画：広報委員会

1/4

### • 広報委員会について

		2015 年度	2016 年度
委員長	山谷泰賢 放射線医学総合研究所 (PET工学)	○	○
副委員長	上村幸司 香川大学 (医療情報工学)	○	○
委員	北坂孝幸 愛知工業大 (CAD工学)	○	○
	菅 幹生 千葉大学 (MRI工学)	○	○
	田中利恵 金沢大学 (放射線科学)		○
	中田典生 東京慈恵会医科大学 (超音波診断)		○
	福田国彦 東京慈恵会医科大学 (画像診断)	○	

9



## 活動報告および活動計画：広報委員会

2/4

### • 2015年度事業報告

- メールマガジンの発行 (2015/7～2016/6 8通)
- ホームページの管理 (<http://www.jamit.jp>)
  - (株)メイプロジェクトに管理委託



10



## 活動報告および活動計画：広報委員会

3/4

### • eNews Letter

- 非会員でも見られる特徴を活かし、JAMITの発展に貢献することを主目的として、試行的継続。
- 記事方針
  - プッシュアプローチ：JAMIT会員の研究成果や知見等を、会員同士だけでなくJAMIT外部への発信も意識した記事。
  - プルアプローチ：JAMIT分野外部からの技術や知見をJAMITへ持ち込むことによって、新しい展開が期待できるような記事。
- 今年度実績
  - No.22 2015年12月 通算No.76
  - No.23 2016年04月 通算No.77
  - No.24 2016年07月 通算No.78



11



## 活動報告および活動計画：広報委員会

4/4

### • 次年度事業計画

- メールマガジンの発行
- ホームページの更新
- eNews Letterの企画・発行
  - No.25 2016年12月 通算No.79
  - No.26 2017年04月 通算No.80
  - No.27 2017年07月 通算No.81

12



## 活動報告：教育委員会（CAD委員会）

1/2

### 2015年度活動報告

#### ・CADコンテスト(第7回)の開催

日程：2015年7月31日, 8月1日

場所：金沢歌劇座(石川県金沢市) ※第34回大会会場

課題：3次元腹部CT像への肝腫瘍の埋め込み

参加施設数：6施設

成績：優勝 中京大学, 敢闘賞 愛知工業大学

#### ・CAD勉強会の開催

第18回：2015年 4月25日 @名大 (コンテスト説明会)

第19回：2015年12月24日 @名大 (コンテスト反省会)

#### ・データベース販売

件数：計7件(総額15万円)

(内訳：マンモ(2), 胃X線(2), 間接胸部X線(1), 腹部CTVol.1.2(1), 腹部CTVol.3(1))

15



## 活動計画：教育委員会（CAD委員会）

2/2

### 2016年度活動計画

#### ・CADコンテスト(第8回)の開催

課題：3次元腹部CT像への肝腫瘍の埋め込み(※前回と同テーマ)

日程：2016年6月 参加申込期限

2016年7月 処理結果提出期限

2016年6月～7月 評価作業(医師・技師約10名による)

2016年7月22日 結果発表 ※第35回大会会場(千葉市)にて

#### ・CAD勉強会の開催

第20回：2016年5月11日 @名大 (コンテスト説明会)(実施済み)

第21回：2016年秋頃 @名大 (コンテスト反省会)

#### ・次期コンテストの企画

#### ・画像データベースの販売と新規開発

既存DB(6種)の販売, 新規DB(腹部CT像シリーズ)の開発と販売

16



## 活動報告：教育委員会

1/2

### 2015年度活動報告

#### ーチュートリアル講演会の開催

・開催日：2015年7月30日(木)

・場所：金沢歌劇座 ※第34回大会会場

・テーマ：デジタルラディオグラフィ(DR)の黎明期から未来

##### 1. CR開発と今後の展望

加藤久豊(元富士フィルム株式会社)

##### 2. FPD誕生とその後の展開

井上仁司(株式会社キヤノン)

##### 3. CR、臨床の洗礼を受ける

船橋正夫(大阪府立急性期・総合医療センター)

##### 4. DRが臨床にもたらしたもの

ーデジタル画像処理技術の胸部画像診断への応用

佐々木康夫(岩手県中央病院)

17



## 活動報告：教育委員会

2/2

### 2016年度活動計画(総会時には実施済)

#### ーチュートリアル講演会の開催

・開催日：2016年7月21日(木)

・場所：千葉大学西千葉キャンパスけやき会館(第35回大会会場)

・ディープラーニングーその基礎と医用画像応用ー

画像処理の基礎と応用の間

本谷 秀堅(名工大)

Deep Neural Network の基礎

庄野 逸(電通大)

Image-based Neural Networksの医用画像処理・認識応用

鈴木 賢治(イリノイ工科大)

18



## オープンディクショナリ研究会報告

### 設置期間：

平成25年度～平成27年度（3年間）

（平成25年総会の翌日～平成28年総会の開催日）

### 研究会会長：

平野靖（山口大学）

### 実施内容：

- 医用画像工学分野における基礎知識の共有を目的としたWeb版用語集の執筆
- 一般公開
- アンケートの実施

17



## 2015年度決算 収入

2015年4月1日から2016年3月31日まで

### I. 収入の部

（単位：円）

科目	予算額	決算額	差異	備考
1. 正会員費	2,900,000	2,967,000	67,000	正会員358名、入会金23名
2. 学生会員費	270,000	249,000	△ 21,000	学生会員66名
3. 賛助会員費	1,520,000	1,200,000	△ 320,000	賛助会員15口
4. 図書会員費	300,000	270,000	△ 30,000	
5. 会誌広告料		0	0	
6. 会誌別刷代	1,200,000	920,838	△ 279,162	
7. 大会事業収入	3,700,000	3,598,000	△ 102,000	
8. CAD DB	150,000	150,000	0	
9. ハンドブック販売収入	162,000	433,936	271,936	
10. 教育事業収入	0	0	0	
11. 雑収入	20,000	157,206	137,206	
当期収入合計 (A)	10,222,000	9,945,980	△ 276,020	
前年度繰越金	8,398,089	8,398,089		定期預金含む
収入合計 (B)	18,620,089	18,344,069		

18



## 2015年度決算 支出

### II. 支出の部

（単位：円）

科目	予算額	決算額	差異	備考
1. 会誌発行費 5回	4,300,000	3,668,771	△ 630,229	
2. 大会事業費 1回	3,700,000	3,598,000	△ 102,000	
3. 表彰費	150,000	231,515	81,515	
事業補助金				
4. JAMIT FRONIER大会補助費	100,000	80,432	△ 19,568	
5. オープンディクショナリ研究会補助費	100,000	0	△ 100,000	
事業費				
6. ハンドブック販売費	40,000	10,800	△ 29,200	
7. 教育事業費	0	0	0	
8. CAD DB制作費	60,000	25,244	△ 24,756	
幹事会・常任幹事会・事務費				
9. 会誌費	100,000	39,774	△ 60,226	
10. 旅費交通費	700,000	704,238	4,238	
11. 広報関係費	600,000	374,382	△ 425,618	
12. 事務費	1,080,000	1,537,596	457,596	ホームページ固定費含む
13. 備品・消耗品	10,000	0	△ 10,000	
14. 印刷費	70,000	45,298	△ 24,702	
15. 通信費	110,000	76,158	△ 33,842	
16. 雑費	50,000	12,132	△ 37,868	
当期支出合計 (C)	11,360,000	10,405,340	△ 954,660	
当期収支差額 (A-C)	△ 1,138,000	△ 459,360	678,640	
次期繰越収支差額 (B-C)	7,280,089	7,938,729	678,640	
支出合計	18,620,089	18,344,069	△ 276,020	

19



日本医用画像工学会 殿

日本医用画像工学会の平成27年度の決算報告書（案）を監査の結果、内容に相違ないことをここに承認いたします。

2016年7月13日 監事 石川武男

2016年7月13日 監事 今村裕之

20



## 2016年度予算 収入

2016年4月1日から2017年3月31日まで

### I. 収入の部

(単位:円)

科 目	16予 算 額	15予 算 額	備 考
1.正会員費	4,340,000	2,900,000	@1000x20 入会金 @12000x360 年会費
2.学生会員費	360,000	270,000	@4000x90
3.賛助会員費	1,200,000	1,520,000	賛助会員16口
4.図書館員費	270,000	300,000	@10000x3口 @20000x12口
5.会誌別刷代収入	1,000,000	1,200,000	
6.大会事業収入	3,700,000	3,700,000	大会事業支出と同額
7.CAD DB 販売収入	150,000	150,000	
8.ハンドブック販売収入	162,000	162,000	ハンドブック販売20部
9.雑収入	20,000	20,000	
当期収入合計 (A)	11,202,000	10,222,000	
前年度繰越金	7,938,729	8,398,089	
収 入 合 計 (B)	19,140,729	18,620,089	

21



## 2016年度予算 支出

### II. 支出の部

(単位:円)

科 目	16予 算 額	15予 算 額	備 考
1.会誌発行費 5回 34巻3,4,5号,35巻1,2号	4,300,000	4,300,000	ニュースレター含む
2.大会事業費 1回	3,700,000	3,700,000	大会事業収入支出と同額
3.表彰費	200,000	150,000	
事業補助金			
4.JAMIT FRONTIER大会補助費	100,000	100,000	
事業費			
5.ハンドブック販売経費	40,000	40,000	
6.CAD DB 制作費	50,000	50,000	
幹事会・常任幹事会・事務費			
7.会議費	100,000	100,000	
8.旅費交通費	700,000	700,000	
9.広報関係費	100,000	800,000	
10.事務用品	1,488,800	1,080,000	ホームページ制作費含む
11.備品・消耗品	10,000	10,000	
12.印刷費	70,000	70,000	
13.通信費	100,000	110,000	
14.雑費	50,000	50,000	
当期支出合計 (C)	10,988,800	11,280,000	
当期収支差額 (A-C)	213,200	△ 1,038,000	
次期繰越収支差額 (B-C)	8,151,929	7,380,089	
支 出 合 計	19,140,729	18,620,089	

24



## 2016年度 役員人事関係一覧

(2016年7月22日)

1/5

### ■ 退 任

会長	:	縄野 繁	国際医療福祉大学
副会長	:	細羽 実	京都医療科学大学
常任幹事	:	佐藤 嘉伸 東木 裕介	奈良先端科学技術大学院大学 東芝メディカルシステムズ
幹事	:	安藤 裕 井桁 嘉一 小笠原 克彦 尾川 浩一 速水 昭雄 目加田 慶人	埼玉メディカルセンター 日立メディコ 北海道大学 法政大学 亀田総合病院 中京大学
監事	:	石垣 武男 今村 裕之	名古屋城北放射線科クリニック キャン

23



## 2016年度 役員人事関係一覧

(2016年7月22日)

2/5

### ■ 新 任

会長	:	尾川 浩一	法政大学
副会長	:	佐藤 嘉伸	奈良先端科学技術大学院大学
常任幹事	:	松田 幸夫 目加田 慶人	日立製作所 中京大学
幹事	:	石垣 武男 伊藤 聡志 縄野 繁 西原 栄太郎 細羽 実	名古屋城北放射線科クリニック 宇都宮大学 国際医療福祉大学 東芝メディカルシステムズ 京都医療科学大学
監事	:	安藤 裕 川岸 将実	埼玉メディカルセンター キャン

24





## 2016年度 役員人事関係一覧

(2016年7月22日)

3/5

### ■ 新役員体制

注：青字は再任

会長	尾川 浩一	法政大学
副会長	工藤 博幸	筑波大学
	佐藤 嘉伸	奈良先端科学技術大学院大学
	羽石 秀昭	千葉大学
常任幹事	小尾 高史	東京工業大学
	清水 昭伸	東京農工大学
	中田 典生	東京慈恵会医科大学
	原 武史	岐阜大学
	原口 剛	コニカミルタ
	花岡 昇平	東京大学
	松田 幸夫	日立製作所
	目加田 慶人	中京大学
	山谷 泰賀	放射線医学総合研究所
	湯浅 哲也	山形大学

25



## 2016年度 役員人事関係一覧

(2016年7月22日)

4/5

### ■ 新役員体制 (続き)

注：青字は再任

幹事	石垣 武男	名古屋城北放射線科クリニック
	伊藤 聡志	宇都宮大学
	伊藤 俊英	シーメンスヘルスケア
	稲邑 清也	JICARS (国際コンピュータ支援放射線医学・外科学協会)
	上村 幸司	香川大学
	大松 広伸	網走刑務所
	大山 永昭	東京工業大学
	岡田 知久	京都大学
	掛川 誠	浜松ホトニクス
	勝保健一郎	国際医療福祉大学
	北坂 孝幸	愛知工業大学
	木戸 尚治	山口大学大学院
	黒木 嘉典	新村病院、博愛会HPN東京
	真田 茂	金沢大学
	篠川 毅	島津製作所
	杉本 直三	京都大学
	滝沢 穂高	筑波大学

26



## 2016年度 役員人事関係一覧

(2016年7月22日)

5/5

### ■ 新役員体制 (続き)

注：青字は再任

幹事	武田 徹	北里大学
	陳 延偉	立命館大学
	塚本 信宏	さいたま赤十字病院
	土居 篤博	富士フイルム
	縄野 繁	国際医療福祉大学
	仁木 登	徳島大学
	西原 栄太郎	東芝メディカルシステムズ
	長谷川 純一	中京大学
	畑中 裕司	滋賀県立大学
	平野 靖	山口大学
	福田 国彦	東京慈恵会医科大学
	藤田 広志	岐阜大学
	細羽 実	京都医療科学大学
	増谷 佳孝	広島市立大学
	森 健策	名古屋大学
	森 雅樹	札幌厚生病院
監事	安藤 裕	埼玉メディカルセンター
	川岸 将実	キヤノン

27



## JAMIT定款附則の変更について

### 背景：

JAMIT事務局である(株)メイプロジェクトが2月に事務所を移転。それに伴い、定款附則にある事務連絡先を変更する。

### 旧附則：

本学会の事務連絡先を 東京都中央区日本橋小網町2-1-305  
メイプロジェクトにおく。

本定款は2015年4月1日から施行する。

### 新附則：

本学会の事務連絡先を 東京都大田区平和島5-1-1  
ヤマトインターナショナルビル (株)メイプロジェクト におく。

本定款は2016年2月1日から施行する。

28



## 会費、会員管理に関する規程の改定 について

1/2

### 背景：

大学・企業等の機関単位で入会することを想定した図書会員に、幾つかの機関の要望に応じて図書会員C会員（サイトライセンス会員）を新設する為、本規程を制定したい。

### 旧規程：

#### 第1条 会費

- 1.年度（1年間）は、4月1日より翌年3月31日とし、会費は前納とする。
- 2.本学会の年会費は以下のとおりとする。
  - 正会員 12,000円
  - 学生会員 4,000円
  - 賛助会員 1口 80,000円（1口以上）
  - 図書会員 A会員：20,000円(オンデマンドプリント冊子 + 大会抄録CD-R)
  - 図書会員 B会員：10,000円(CD-R + 大会抄録CD-R)
  - 賛助会員 1口には正会員1名分（記名式）の年会費を含むものとする。

1985年7月13日（制定）  
2012年8月4日（一部改定）  
2015年7月31日（一部改定）

29



## 会費、会員管理に関する規程の改定 について

2/2

### 新規程：

#### 第1条 会費

- 1.年度（1年間）は、4月1日より翌年3月31日とし、会費は前納とする。
  - 2.本学会の年会費は以下のとおりとする。
    - 正会員 12,000円
    - 学生会員 4,000円
    - 賛助会員 1口 80,000円（1口以上）
    - 図書会員 A会員：20,000円(オンデマンドプリント冊子 + 大会抄録CD-R)
    - 図書会員 B会員：10,000円(CD-R + 大会抄録CD-R)
    - 図書会員 C会員（サイトライセンス会員）：50,000円(大学・企業等の申し出があった機関内IPアドレス範囲からJ-STAGE掲載済みのMIT誌フリーアクセス)
- 注1）賛助会員1口には正会員1名分（記名式）の年会費を含むものとする。  
注2）サイトライセンス会員は、申込みの際に希望IPアドレス範囲を申し出てもらい、適正な規模かどうか常任幹事会で審査の上で入会を許可する。

1985年7月13日（制定）  
2012年8月4日（一部改定）  
2015年7月31日（一部改定）  
2015年11月12日（一部改定）

30



## 田中栄一記念賞(MIT誌論文賞)規約 の制定について

### 背景：

田中栄一先生より申し出のあった寄附金の用途を、MIT誌の最優秀論文の著者への記念賞とする為、本規約を制定したい。

**第1条** JAMITの学会誌である「日本医用画像工学会誌Medical Imaging Technology (MIT誌)」の「研究」カテゴリーに掲載された原著論文の中から毎年最優秀論文1件を選定し、「田中栄一記念賞（MIT誌論文賞）」を授与する。受賞対象者はJAMIT会員である著者全員とし表彰状と副賞を授与し、JAMIT会員である筆頭著者に賞金10万円を授与する。賞の選定は、各年1月～12月発行のMIT誌に掲載された論文単位で行う。

**第2条** 「田中栄一記念賞（MIT誌論文賞）」の選考はMIT誌編集委員会にて定められた内規に基づいて行い、その結果を常任幹事会にて審議の上承認する。

**第3条** 原資金総額は200万円とし、なくなった時点で本賞の継続に関して再審議する。

### 制定日

2016年7月22日（制定）

31



## 利益相反の取扱いに関する規程 の制定について

1/4

### 背景：

産学連携活動に伴い発生する「利益相反（conflict of interest, COI）」の状態を学術団体が組織として適切に管理していくことが必須となってきている。本学会においても、研究の公正性、透明性を確保するため、利益相反状態を把握する体制づくりとして、本規程を制定したい。

### 第1条（目的）

本規程は、本学会の「利益相反（Conflict of Interest, 以下、COIと略す）」に関する基準とその申告および開示方法について定め、本学会会員などのCOI状態を公正に管理することを目的とする。

### 第2条（COI事項の申告）

本学会主催の学会発表に際し、発表内容に関わるCOI状態の有無を演題登録時に主催者が求める様式で申告しなくてはならない。  
また、本学会が発行する刊物への論文発表に際し、発表内容に関わるCOI状態の有無を投稿規定で求める様式で申告しなくてはならない。

32



## 利益相反の取扱いに関する規程 の制定について

2/4

### 第3条 (COI 自己申告の基準)

COI自己申告が必要な金額は以下のごとく、各々の開示すべき事項について基準を定めるものとする。なお、演題登録時から遡り1年間のCOIの状態について申告を行うものとする。

- 1) 研究に関連する企業・法人組織や営利を目的とした団体(以下、企業・組織や団体という)の役員、顧問職については、1つの企業・組織や団体からの報酬額が年間100万円以上とする。
- 2) 株式の保有については、1つの企業についての1年間の株式による利益(配当、売却益の総和)が100万円以上の場合、あるいは当該全株式の5%以上を保有する場合とする。
- 3) 企業・組織や団体からの知的財産権使用料については、1つの権利使用料が年間100万円以上とする。
- 4) 企業・組織や団体から、会議の出席(発表)に対し、研究者を拘束した時間・労力に対して支払われた日当(講演料など)については、一つの企業・団体からの年間の講演料が合計50万円以上とする。
- 5) 企業・組織や団体がパンフレットなどの執筆に対して支払った原稿料については、一つの企業・組織や団体からの年間の原稿料が合計50万円以上とする。

33



## 利益相反の取扱いに関する規程 の制定について

3/4

- 6) 企業・組織や団体が提供する研究費については、一つの企業・団体から研究(受託研究費、共同研究費など)に対して支払われた総額が年間200万円以上とする。
- 7) 企業・組織や団体が提供する奨学(奨励)寄付金については、一つの企業・組織や団体から、申告者個人または申告者が所属する部局(講座・分野)あるいは研究室の代表者に支払われた総額が年間200万円以上の場合とする。
- 8) 企業・組織や団体が提供する寄付講座に申告者らが所属している場合とする。
- 9) その他、研究とは直接無関係な旅行、贈答品などの提供については、一つの企業・組織や団体から受けた総額が年間5万円以上とする。

但し、6)、7)については、筆頭発表者個人が、筆頭発表者が所属する部局(講座・分野)あるいは研究室など研究成果の発表に関連し、開示すべきCOI関係にある企業や団体などからの研究経費、奨学寄付金などの提供があった場合に申告する必要がある。

34



## 利益相反の取扱いに関する規程 の制定について

4/4

### 第4条 (COIの開示方法)

登録時にCOI自己申告された演題については、当該演題が掲載されるプログラム集、抄録集上で適宜開示を行う。

演題登録以降発表当日までに変更があった場合には、その内容を発表時に使用するスライドまたはポスターに記載する等の方法で開示を行う。

また、COI自己申告された投稿論文については、投稿規定で定める様式で適宜開示を行う。

### 制定日

2016年7月22日(制定)

※ 具体的な内容については、別途、ホームページなどで連絡します。

35



## 第34回大会「大会奨励賞」受賞者報告

2015年9月メルマガおよびホームページで発表済み / 10月賞状・副賞送付

演題番号	発表者・所属・タイトル
OP1-1	森 悠一 昭和大学横浜市北部病院消化器センター 大腸Endocytoscopyを用いた、自動診断システムの高精度化
OP2-1	臼井 桂介 順天堂大学医学部 放射線治療学講座 体外式赤外線モニタを利用した放射線治療用コーンビームCTの4次元画像再構成
OP4-3	水谷 友一 中京大学 情報理工学部 SURF特徴の照合による腹腔鏡手術映像へのタグ付け
OP5-6	青山 岳人 京都大学大学院医学研究科、キャンソ株式会社 構造化した画像所見と臨床情報を統合した肺結節CT画像データベースの構築
OP7-1	渋谷 萌音 宇都宮大学大学院 工学研究科 Multi-scale eFREBAS変換を利用したMR位相画像の圧縮センシング
PP6	小倉 優理 千葉大学工学部 ロバスト主成分分析を用いた血管造影の強調
PP21	三澤 将史 昭和大学横浜市北部病院消化器センター 大腸病変の超拡大血管所見に対する自動診断システム
PP25	堀 翔太郎 山口大学大学院医学系研究科応用医学専攻 胸部CT像に対するFEMによる仮想肺葉切除術後のCT像の作成

36



## 2015年 田中栄一記念賞 (MIT誌論文賞)

### 『死後CT像のテキスト解析による死因推定』

(Vol.33, No.4, pp.177-184, 2015)

平野 靖 1), 時安 峻一 1), 徐 睿 2), 橘 理恵 3), 木戸 尚治 1),  
斉藤 篤 4), 清水 昭伸 4)

1) 山口大学, 2) 立命館大学, 3) 大島商船高等専門学校,  
4) 東京農工大学

概要：本論文では、autopsy imaging (Ai) をコンピュータによって支援することを目的として、死後CT像中の臓器領域に対してテキスト解析を行い、死因を推定する手法の開発を行った。実験には28症例の死後CT像を用い、肝臓領域と肺野領域に対して、同時生起行列 (GLCM) に基づくテキスト特徴量などを算出した。得られた特徴量に対して死因との相関に基づく特徴量選択法 (correlation based feature selection: CFS) によって、推定に有用な特徴量を選択した。さらにこれらの特徴量を用いて、SVMによる死因推定を行ったところ、96%の精度で分類することができた。

37

次回の大会のお知らせ  
**第36回 日本医用画像工学会大会**  
(JAMIT2017)

大会長：藤田広志 (岐阜大学)  
会期：2017年7月27日 (木) - 7月29日 (土)  
会場：しづかプラザ (岐阜県岐阜市) [予定]